

出入国在留管理庁が視察に来校されました

【令和6年9月13日】

法務省の外局である出入国在留管理庁と、その地方部局である名古屋出入国在留管理局の職員が本校を訪問されました。合わせて県の外国人活躍・共生社会推進課も来校されました。

外国につながる生徒が約6割を占める本校における支援の在り方の視察と、生徒との意見交換が目的で、管理庁・管理局合わせて6名が来校されました。



2時限目の3年次生「日本語Ⅲ」では、就職試験も近いことから面接官役を務めていただき、就職関連の質問とともに生活等に関する意見交換をされました。前半の就職面接練習



では緊張した面持ちで志望理由等を述べていた生徒たちも、後半の意見交換ではリラックスして質問に答えていました。外国人の方が生活しやすくなるように奮闘される管理庁・管理局の方の思いに応えようと、一生懸命話している生徒たちが印象的でした。

生徒たちのよりよい環境づくりができるよう、本校におきましても引き続き関係機関との連携を強くしていきます。

